

ふたつの「未完成な」楽器が、
ながらの座・座の「間と庭」にいざなわれ、
「新しい響き」を放つ。

中田美穂 (ヴィオラ) 宮原裕子 (鍵盤ハーモニカ) デュオ・コンサート

ヴィオラと鍵盤ハーモニカ

揺らぎ・あそび・漂う

2020年11月29日(日) 14:00開演 会場:ながらの座・座

定員:40名 参加費:一般 3,500円、学生 2,000円(先着若干名/18歳以下) ※小学生は無料です 主催:元・正蔵坊と古庭園を楽しむ守る会(ながらの座・座)

後援:滋賀県・滋賀県教育委員会 大津市・大津市教育委員会 文化・経済フォーラム滋賀 特別協賛:中山倉庫株式会社 滋賀石油株式会社

申し込み:ホームページの申し込みフォームまたはFAX077-522-2926にて住所・氏名・参加プログラム名・公演時間・連絡先記入の上、

お申し込みください。※未就学のお子さまの参加はご遠慮ください

2020
11.29
(sun.)
ながらの座・座

松田昌:鶴と旅人(2018)

中村匡寿:雲雀殺し(2020) *世界初演

クシシュトフ・ペンデレツキ:シャコンヌ(1933)

「心の情景」

林光:古い庭のうた

町田育弥:雨ふりアルマンド

ライオネル・ターティス:ヘンデルのパッサカリア変奏曲 ほか

zaza

<http://nagara-zaza.net/>

中田美穂（ヴィオラ）宮原裕子（鍵盤ハーモニカ）デュオ・コンサート

ヴィオラと鍵盤ハーモニカ 揺らぎ・あそび・漂う

2020年11月29日(日)

14:00開演 ※開場は開演30分前

会場：ながらの座・座 定員：40名

参加費：一般 3,500円、

学生 2,000円(先着若干名/18歳以下)

申し込み：ホームページの申し込みフォーム

(<http://nagara-zaza.net/contact/>)または

FAX(077-522-2926)にて住所・氏名・

参加プログラム名・公演時間・連絡先記入の上

お申し込みください。

※未就学のお子さまの参加はご遠慮ください

主催：元・正蔵坊と古庭園を楽しむ守る会(ながらの座・座)

後援：滋賀県・滋賀県教育委員会

大津市・大津市教育委員会

文化・経済フォーラム 滋賀

特別協賛：中山倉庫株式会社 滋賀石油株式会社

Program

松田昌：鶴と旅人(2018)

中村匡寿：雲雀殺し(2020) *世界初演

クシユトフ・ペンデレツキ：シャコンヌ(1933)

「心の情景」

林光：古い庭のうた

町田育弥：雨ふりアルマンド

ライオネル・ターティス：

ヘンデルのバッサカリア変奏曲 ほか

©新型コロナウイルス感染拡大予防について

「ながらの座・座」では、新型コロナウイルス感染拡大予防についてガイドライン(公益社団法人全国公立文化施設協会発行)に対応して下記のような対策をとっています。入場は少人数ずつ、スタッフが誘導/手指の消毒のための備品設置/スタッフ・来場者ともマスクの着用/ご協力のほどよろしく願っています。

ヴィオラはヴァイオリンとチェロを補完する目的で作成された楽器ですが、その2つの楽器に比べると未熟なところの多い楽器です。それは、楽器を理想的な構造にしようとするとき大きくなり過ぎて弾けないため、人間の腕の中に納まる大きさに合わせて製作されているためです。そんな『不完全さ』もあって、長い間「独奏楽器」として見られることもありませんでした。そして、その不完全さゆえ、独奏には高い技量が求められるとともに、演奏者の心の声が音色に大きく影響するのが特徴です。

一方、鍵盤ハーモニカは教育楽器として幅広く親しまれるほか、今や大人のミュージックシーンでも様々な場面で用いられています。現在のような形状になってからは60年程度と発展途上で、クラシック音楽に用いられることはほとんどありませんでした。その構造の単純さゆえ、吹き手の有り様を良くも悪くも露わにさせてしまうことが、この楽器の最大の特徴であり、面白さでもあります。今日は、「生まれながらに持った不完全さ」と、「発展途上で未成熟」な2台の“未完成な”楽器の音色とそれゆえ露わになる演奏者の心の声にお客様の心を重ねていただけましたら幸いです。

今回初演となる、この二つの楽器のために書きおろされた中村匡寿作曲の「雲雀殺し」。鍵盤ハーモニカの第一人者である松田昌作曲の「鶴と旅人」。そして、平和の祈りが込められたペンデレツキ作曲「シャコンヌ」。古からの時が流れ、自然と人が交わる座・座の空間にさそわれて、私たちもあるがままの心を紡いで、音として放っていきたくと思っています。

(中田美穂・宮原裕子)

中田美穂 ヴィオラ

Miho Nakata, Viola

相愛大学音楽学部卒業。ヴァイオリンを西村順吉、田川佐麻里、小栗まちな絵の各氏に師事。卒業後、ヴィオラに転向し、大山平一郎、大島路子、森悠子、Aki Saulierの各氏の元でヴィオラ及び室内楽の研鑽を積む。国内外の数々の音楽祭・演奏会に出演。長岡京室内アンサンブルの数々の演奏会・録音に参加。成田寛、鈴木秀美の各氏の元研鑽を積み、オリジナル楽器奏者としても活躍。ヴィオラスペース2016に出演。Zaza Quartetメンバーとして「ながらの座・座」にてガット弦によるペーターベン弦楽四重奏全曲演奏に取り組む。東京バロックプレイヤーズ、Den Haagピアノ五重奏団でも活躍。綴喜郡宇治田原町在住。



宮原裕子 鍵盤ハーモニカ

Yuko Miyahara, Melodica

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。オーボエ専攻。オーボエを鈴木清三、室内楽を北爪利世、末吉保雄の各氏に師事。その後、鍵盤ハーモニカ奏者である松田昌氏の音に魅せられ師事。教育楽器の枠を超えた表現楽器としての演奏に取り組み活動を広げている。中でもヴァイオリン・チェンバロ・鍵盤ハーモニカによる「TRIO AEOLUS」では、クラシック音楽を中心に掘え注目を集める。2015年、8弦ギターとのデュオアルバム「Air」をリリース。中田美穂との音は楽器を手にした当初から培ってきたもので、今回デュオとして三度目の共演となる。2018年6月、鍵盤ハーモニカ曲集「大人のピアノレパートリー」(ヤマハミュージックメディアより)出版。演奏収録・監修。



ながらの座・座

「ながらの座・座」とは、登録有形文化財「橋本家住宅(旧・正蔵坊)」とその庭園を総称したものです。歴史ある環境が次々と壊されていく時代にあって、時が育んだ環境を今の時代に生かすことで次の時代に引き継いでゆけたら。そんな思いから有志のご協力を得て2011年秋より「建物と古庭園」を一体的に使い楽しむプログラムがスタートしました。

古い日本建築の持つ柔らかな空間や自然のホールともいえる古庭園を“生き物”として楽しみ、ここから実現できるクオリティの高い様々なパフォーマンス、実験的な試みなどを積極的に取り上げることがコンセプトに、愉しみながら文化財を保存・維持することを目指しています。



〒520-0035 大津市小関町3-10
TEL&FAX 077-522-2926
MOBILE 090-8576-7999(橋本)
<http://nagara-zaza.net/>



- JR 大津より徒歩15分
- 京阪電鉄京津線「上栄町」より徒歩7分
- 名神高速「大津」または「京都東」より車で5分、またはR1号線→R161号線。
- コインパーキング「Times 大津日赤病院前」が座・座から徒歩3分程度のところにあります。22台駐車可です。